

団体名：株式会社ビバ

関連 SDGs（ゴールの番号）



健康・生きがいを育む“活力生活倶楽部®”

ビバスポーツアカデミーでは、スポーツクラブ・フィットネスクラブではなく意識的に「活力生活倶楽部」という言葉を使っています。

本来「倶楽部」という言葉には「社交」という意味が含まれています。つまりスポーツクラブとはスポーツを通じての社交の場なのです。

「活力生活倶楽部®」では、黙々と身体を鍛えるために通う場ではなく、「生涯の健康づくり」「居場所づくり」「倶楽部の共創」「新しい体験・愉しみづくり」「生きがいと自己実現」を育み、生き活きとした倶楽部ライフを愉しんで創ることを目的にしています。



幼児期の成長に最も必要な環境づくり“水中活動倶楽部®”

幼児期の子どもたちにとって、まず大切な視点は、内面にある自らの欲求に応じて自由に表現することです。それは周囲の対象物への興味からはじまると言っても過言ではありません。子どもたちはその動きの中で、身体的・社会的・感覚・知的・性格などが絶えず発達していきます。また、子どもたちはそうした発達に応じた多くの身体的機能を展開していきます。

ビバスポーツアカデミーでは、幼児/水中活動倶楽部®として幼児期の成長に目を向け、幼児期の成長・発達に最も必要な環境創りを5つのテーマとしています。



スタッフが学び、働きがいを感じる職場に

～スタッフの使命と誇りを育む合同ミーティング～

スタッフの立場や事業所を超えた話し合いの場として、集まったメンバーで、会員さん視点での倶楽部創りについて学び合い、スタッフの活動報告、テーマに沿ったディスカッションを月に1度開催しています。

合同ミーティングでは入社歴や役職は関係なく、倶楽部創りについてそれぞれの視点や視野での想いや会員さんとのエピソードを通じて学びを深めています。



誰もが健康にいきいきと暮らせるまちづくり

おおつ健康講座2018

2018年1月25日 @大津市民会館

超高齢社会を迎えている日本において、高齢者が趣味や生きがいをもち、より良い生活ができるよう、健康づくり・身体を動かすことに興味・関心を持ってもらいたいという想いから、大津市様後援の下、『歩く』の新常識～100歳まで自分の足で歩くには!?～というテーマで、講演を開催いたしました。

大津市民のウォーキング（健康）意識は非常に高く、皆様熱心に聞いておられました。当日は来館された方からウォーキングフォームをチェックし、講演の中で一人ひとりフォームの解説を行い、参加した皆様に喜んでいただきました。

【今後の取り組み】

健康従事者を中心に、大学や専門学校の教授・講師や医師、民間のトレーナーを招いて様々な視点から健康について発信し、地域全体で健康寿命の延伸に寄与します。



びわこ成蹊スポーツ大学教授の藤松典子氏と日本ポールウォーキング協会特別顧問の杉浦伸郎氏による講演や座談会を開催



担当者連絡先

株式会社 ビバ 経営サポートチーム 堀内 豊史

〒602-0872 京都市上京区丸太町通河原町東入駒之町 536 番地

TEL 075-251-1800 FAX 075-251-1810

e-mail : a.horiuchi@viva-co.co.jp URL : <http://www.viva-co.co.jp/>